

(特非) たてやま・海辺の鑑定団

南房総館山沖ノ島の海辺を「守り」「伝える」 ための仕組み強化による環境保全・再生の 普及啓発活動と実践活動

活動地域  千葉県館山市

ひろげる助成

1年目

実践

アマモ関係イベントの
延べ参加者数 **390人**

環境保全協力金
として集めた金額 **548万円**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **35%**



一般参加で行ったアマモの移植イベント

活動内容と成果

- 地元小学校や一般参加者とアマモ場再生に取り組むイベントを実施、延べ約390人が参加した
- 地域住民を対象にしたイベント「里海博」を開催し、122人が参加、現状・課題を共有することができた
- 海水浴期間に沖ノ島を訪れる来訪者に、環境保全協力金を呼びかける活動を行い、前年度より約188%増となる548万円を集めた。また沖ノ島・里海観光案内所の設置、自然体験活動プログラムなどを実施し普及啓発に努めた
- 環境保全のシンボルマークを一般公募し、インターネット・来訪者・地域住民の選考を経て決定した

課題

自然豊かな沖ノ島では、特に夏季の来訪者によるマナーやゴミ問題、一方台風などによるアマモ場の減少、「環境保全・再生」と「活用」の「仕組み強化」が課題となっている。

目標

沖ノ島の保全・再生と活用を両立する。「普及啓発活動」により「大切さ」を共有し、持続可能な「仕組み」、常に管理ができる体制を構築し、自然環境を次世代に継承する。



地域住民へ向けた
普及啓発イベント「里海博」

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

台風の影響と新型コロナウイルスの影響で計画通りに進まず、また自然の異変に対する検証結果はすべて仮説になってしまう点。

■ 工夫した点

アマモの消失原因の検証のため、浅瀬に保護ゾーンを設置。食害対策として想定食害魚の天敵であるアオリイカの産卵床を設置した。



今後の
展望

台風の影響からの再生などに地域を巻き込み一緒に取り組むことで普及啓発を進めていきたい。地域が一体となって取り組む仕組みを形成することを目指し、貴重な自然環境を次世代に継承していく。

〒294-0034
千葉県館山市沼979番地
電話：0470-24-7088
E-mail：info@umikan.jp
HP：http://umikan.jp/

